

様式7

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理総合	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>『高校生の地理総合』帝国書院</p> <p>『新詳高等地図』帝国書院</p> <p>『新編地理資料 2023』東京法令出版</p> <p>『ニューコンパスノート地理 2023』東京法令出版</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界	・定期考査等	・定期考査等 ・提出物	・提出物

	2章 結びつきを深める現代世界 2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解			
		200点	200点	200点
後期	2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 2章 地球的課題と国際協力 3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 2章 生活圏の調査と地域の展望	・定期考査等	・定期考査等 ・提出物	・提出物
		200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 2節 地図と地理情報システム	4
	5	2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき	6
	6	2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	第1回考査 15
	7		
	8	3節 世界の産業と人々の生活	8
	9	4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	第2回考査
	10	5節 多様な生活文化と地理的環境 ・アジア ・アフリカ ・ヨーロッパ ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・ロシア ・オセアニア	15
	11	2章 地球的課題と国際協力 1節 人口問題 2節 食料問題 3節 都市・居住問題	第3回考査 12
	12	4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題	
後期	1	3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境	10
	2	2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 3節 気象災害と防災 4節 自然災害への備え	
	3	2章 生活圏の調査と地域の展望	
		第4回考査	

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	2単位・3 単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>山川出版社『詳説世界史探究』</p> <p>第一学習社『グローバルワイド最新世界史図説』 啓隆社『世界史重要語句 Check List2023』</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	諸地域世界の歴史的特質と、その交流・再編に関わる諸事象について、相互的な視野から捉え理解している。また、諸資料の情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	諸地域世界の歴史的特質と、その交流・再編に関わる事象について、諸資料をもとに多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明したり、議論したりしている。	歴史総合で養った「私たち」の理解を足掛かりに、諸地域世界の歴史的特質を異文化理解の立場から探究している。諸地域の交流・再編から、現代における多文化共生のヒントを見出そうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	〔第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成〕 ・古代文明の成立と特色 ・ユーラシア世界 ・南アジア、東南アジア世界 ・地中海世界 ・イスラーム世界とヨーロッパ世界の成立	定期考査等	・定期考査等 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・単元シート記述分析
	評価点	200点	200点	200点
後期	〔第Ⅱ部 諸地域の交流・再編〕 ・イスラームの伝播 ・ヨーロッパの変容と展開 ・ユーラシア世界の展開 ・大交流の時代 ・アジアの諸帝国 ・近世ヨーロッパの動向	定期考査等	・定期考査等 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・単元シート記述分析
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	世界史へのまなざし 〔第1部 諸地域の歴史的特質の形成〕 第1章 文明の成立と古代文明の特質	9
	5	・文明の誕生 ・オリエント、南アジア、中国、アメリカの古代文明	12
	6	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 ・草原とオアシスの世界 ・秦漢帝国と中国の動乱、変容	12
	7	◆第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・仏教の成立と南アジアの統一国家 ・インド古典文化とヒンドゥー教の定着	12
	8	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 ・イラン諸国家とイラン文明 ・ギリシア人の都市国家とローマの地中海支配	3
	9	第5章 イスラーム世界の成立とヨーロッパ世界の形成 ・アラブの大制服とイスラーム政権 ・ヨーロッパ世界の形成	12
		◆	第1回考査
			第2回考査
	後期	10	〔第II部 諸地域の交流・再編〕 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・イスラーム教の諸地域への伝播
11		第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 ・東西ヨーロッパ世界の展開と変容 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・アジア諸地域の自立化と宋 ・モンゴルの大帝国	12
12		◆第9章 大交易・大交流の時代 ・アジア交流世界の興隆 ・ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	9
1		第10章 アジアの諸帝国の繁栄 ・オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接諸地域	12
2		第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 ・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家体制の成立	12
3		◆ ・科学革命と啓蒙思想	第4回考査

5 その他

歴史総合の学習を通じて、「歴史＝覚えること」という認識を脱することができたと思います。世界史探究では、いよいよ世界のすべての時代を対象にして歴史を考えていくことになります。2年生では、古代・中世と呼ばれる時代がその対象です。歴史総合で扱ってきた近現代史は、「私たち」の社会や価値観がどのように形作られてきたのかを学習してきました。では、古代中世を学習するのは何のためでしょうか。古代中世は、「私たち」とは異なる時空間や価値観で生活していた人々の歴史です。そのような時空間に生きた人々の歴史を理解し考えることは、「私たち」とは異なる他者の在り様を受け入れ共生していくためのヒントを与えてくれます。それは異文化理解の入口です。世界を知り、自分を知り、人に優しくあるために。ともに世界史を探究していきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	3 単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>山川出版社『詳説日本史探究』 浜島書店『新詳日本史』 啓隆社『日本史重要語句 Check List2023』 浜島書店『ゼミナール日本史』</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	国内外の諸状況の変化を背景とした、我が国の歴史における時代の転換を理解する。また、諸資料の情報を適切に調べまとめる技能を身に着けている。	国内外の諸状況の変化を背景とした、我が国の歴史における時代の転換について、諸資料をもとに多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明したり、議論したりしている。	歴史総合で養った「私たちの」理解を足掛かりに、我が国の歴史における時代の転換を異文化理解の立場から探究している。我が国の歴史における時代の転換から、日本の諸課題のヒントを見出そうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	〔第Ⅰ部 原始・古代〕 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳と大和政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開	定期考査等	・定期考査等 ・ワークの各記述分析	・学習課題等 ・単元の問いへの記述分析
	評価点	200点	200点	200点
後期	〔第Ⅱ部 中世〕 第5章 日本文化のあけぼの	定期考査等	・定期考査等 ・ワークの各記述分析	・学習課題等 ・単元の問いへの記述

第6章 古墳と大和政権 第7章 律令国家の形成 〔第Ⅲ部 近世〕 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開			分析
評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	〔第Ⅰ部 原始・古代〕 第1章 日本文化のあけぼの ・文化の始まり ・農耕社会の成立	9	
	5	第2章 古墳と大和政権 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	12	
	6	第3章 律令国家の形成 ・律令国家への道 ・平安京の時代	12	
	7	◆ 第3章 律令国家の文化 ・律令国家の変容	12	
	8	第4章 貴族政治の展開 ・摂関政治 ・国風文化	3	
	9	◆ 第4章 地方政治の展開と武士	12	
			第1回考査	
			第2回考査	
後期	10	〔第Ⅱ部 中世〕 第5章 院政と武士の躍進 ・院政の始まり ・院政と平氏政権	12	
	11	第6章 武家政権の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴルの襲来と幕府の衰退	12	
	12	◆ 第6章 鎌倉文化	9	
	1	◆ 第7章 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	12	
	2	〔第Ⅲ部 近世〕 第8章 近世の幕開け ・織豊政権	12	
	3	第9章 幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ◆ 幕政の安定	12	
			第3回考査	
			第4回考査	

5 その他

2年生の日本史探求では、古代・中世・近世を主な学習範囲としています。1年生の「歴史総合」において、皆さんは近現代史が、「私たち」の社会や価値観をどのように形作ってきたのかを学習してきたと思います。この力を基に、日本の歴史の中で起こった出来事の意味や意義を考え、時代がどのような要因で変化してきたのかを探求してもらいます。そして、そこで得た「歴史的な見方・考え方」というメガネから、現代の日本が抱える諸課題を見てみることで、それまでの自分が見えていなかった他者の価値観や考え方、問題解決のための発見や意見を持つことができると思います。これこそまさに異文化理解ではないでしょうか。日本史を探求して、多様なメガネから見える新たな世界を見てみましょう。

